

三好市プチガイド養成講座
5コマ目
2022.07.06.

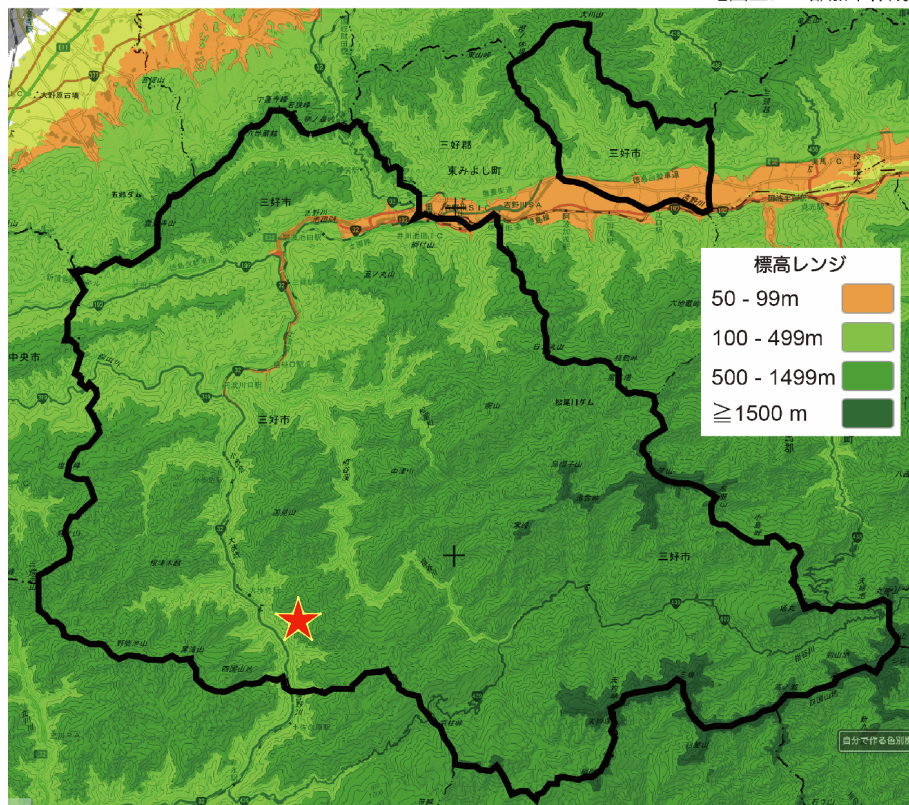
生活文化と歴史：東西祖谷地区

ひのきお よしかず
桧尾良和 さん
(西祖谷よびごと案内人)



三好市と三好市周辺の地形

出典：国土地理院 色別標高図
※地図上に一部加筆作成



三好市西祖谷山村吾橋





特徴



特徴



にし阿波の傾斜地農耕システム
徳島剣山世界農業遺産推進協議会





徳島県内の どう たく 銅鐸の分布

徳島県内には、伝承を含めると約50点の銅鐸の存在が知られており、その数は全国銅鐸が産出する河川流域の資本に多く、特に船喰川下流域と那賀川流域に集中しています。

現存する銅鐸

1: 伝瀬瀬銅鐸	1点	12: 星河内美田銅鐸	7点
2: 神宅銅鐸	1点	13: 勢合銅鐸	1点
3: 上浦銅鐸	1点	14: 八貫渡銅鐸	1点
4: 川島銅鐸	1点	15: 畑田銅鐸	1点
5: 伝脇町銅鐸	1点	16: 伝長者ヶ原銅鐸	2点
6: 櫻銅鐸	1点	17: 田村谷銅鐸	1点
7: 庄・蔵本銅鐸	1点	18: 曲り銅鐸	2点
8: 名東銅鐸	1点	[出土地不明]	
9: 矢野銅鐸	1点	: 伝徳島県内出土銅鐸	1点
10: 瀧田銅鐸	3点	: 伝吉野川沿岸銅鐸	1点
11: 安都真銅鐸	4点		

所在不明の銅鐸

19: 檜銅鐸	1点	27: 上大野銅鐸(小山田銅鐸)	1点
20: 伝板野郡板野町銅鐸	1点	28: 伝長生銅鐸	1点
21: 森藤銅鐸	1点	29: 才見銅鐸	1点
22: 伝久勝銅鐸	1点	[出土地不明]	
23: 伝福万谷銅鐸	1点	: 伝阿波銅鐸	1点
24: 多家良銅鐸	2点	: 『三好郡志』に載る銅鐸	1点
25: 伝小松島銅鐸	2点	: 伝三好郡三好町誕生・風谷谷銅鐸	1点
26: 伝名西郡神山町下別・大久保銅鐸	1点	: 伝名東郡内銅鐸	1点

じっくり観察!銅鐸パレード
当館では実物と複製をおり交ぜた29点を展示しています。整然と並ぶ様子は、パレードのようです。

担当分野: 考古
植地学芸員

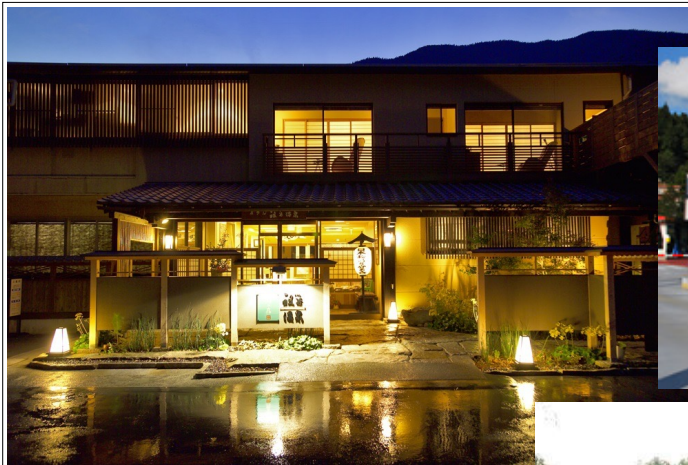


祖谷街道



街道の開通と祖谷の発展

1871年	明治 4年	廃藩置県 徳島藩から徳島県 (祖谷(祖谷山)が東西に分かれる)
1876年	明治 9年	徳島県は高知県となる
1880年	明治13年	再び徳島県を設置
1889年	明治22年	美馬郡東祖谷山村、西祖谷山村誕生
1894年	明治27年	四国新道 全通開通
1901年	明治34年	祖谷街道開削
1919年	大正 9年	祖谷街道開通 (池田～東祖谷久保)
1923年	大正12年	祖谷のかずら橋消失
1928年	昭和 3年	祖谷のかずら橋再興 (架け替えも)
1933年	昭和 9年	歩危観橋開通 (現大歩危橋)
1934年	昭和10年	土讃線開通、赤野駅 (現大歩危駅) 設置
1949年	昭和24年	東西祖谷美馬郡から三好郡へ
1955年	昭和30年	かずら橋文化財指定
1966年	昭和41年	かずら橋入場料金徴収開始 (50円/人)
1974年	昭和49年	祖谷溪道路開通 (県道32号線)



大歩危・祖谷
温泉郷
OOBOKE-IYA ONSENKYO TOKUSHIMA JAPAN

